

有限会社銘板センター山陰

■事業

需要増加に伴う樹脂部品加工の生産性向上、高度精密加工導入

■対象類型

ものづくり技術 精密加工、測定計測

■導入機械装置

画像寸法測定器、立形マシニングセンタ

☑ものづくり技術 ☐革新的サービス

オンリーワン技術 樹脂研磨透明仕上げ

【経営理念】

樹脂の素材供給から加工まで、多品種・短納期に迅速に対応。常に新技術を導入し、多様化するお客様のニーズに対応できるシステムを作り、さらに愛され信頼される会社をめざし努力をしています。

プラスチック・樹脂は、軽量で絶縁性、薬品耐久性などの特性があり、半導体や自動車、航空機、食品、医療などさまざまな分野で加工品が使われている。有限会社銘板センター山陰は、加工部門では、手加工による曲げ、接着、溶接技術や旋盤、フライス盤などを使った切削技術で多様な製品を製作。確かな技術と少量、短納期の注文もいとわない企業姿勢で信頼を築いてきた。地元を中心に200社以上と取引がある。展示用ショーケースやディスプレイ、照明カバー、水槽なども製作。彫刻部門では、樹脂銘板、金属銘板、腐蝕銘板、シルク印刷も手掛ける。樹脂の加工品を透明に仕上げる「樹脂研磨透明仕上げ」は、同社が開発に成功したオンリーワンの技術だ。樹脂は削ると表面が白っぽくなり、透明化は、アクリル以外では困難とされてきた。常務取締役の引野和弘さんが、工業化学の知識を生かし、アクリルなどより耐久性の高い樹脂で透明化を実現した。鏡面仕上げを同時に施せば、汚れが付きにくくクリアな品質を保つこともできる。平成29年の「名古屋機械要素技術展」で初披露し、大きな反響を呼んだ。

検査の工程短縮し品質向上 複雑形状、傾斜加工も可能に

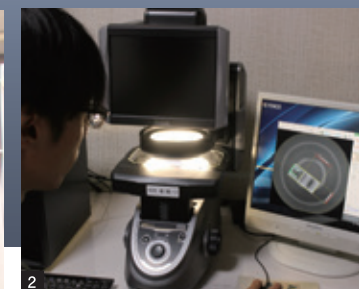
銘板センター山陰は、代表取締役の引野康治さんが脱サラして創業。当初は、機械彫刻による銘板製作が主業だった。樹脂加工品は搬送中に壊れることも多く、取引先から「地元調達したい」との要請があった。工業用プラスチックカバーの製作を始め、徐々にマシニングセンタ、フライス盤などの機械設備を整え、樹脂加工部門が社業の柱に成長した。今回の設備導入は、生産性の向上とより高度な精密加工実現のためだ。画像寸法測定器の導入によって、検査に掛かる工程を効率化、測定誤差もなくなり品質向上につながった。図面のない製品も自動計測して形状を掌握し、加工することが可能になった。立形マシニングセンタは、プログラムを入力すれば、自動的に工具交換を行うため、長時間の加工時は、機械から離れ、次の仕事の準備を行う余力が生まれた。付属のNC円テーブルを用いることにより、複雑形状の渦巻きスクリューや傾斜加工も可能となった。最新の高速仕様で加工時間を20%短縮できた。



代表取締役 引野 康治



1 導入した立形マシニングセンタ



2



3

2 導入した画像寸法測定器

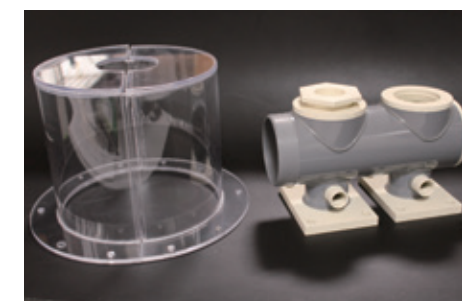
3 製品群。前後列の右端が透明仕上げ

受注量拡大を図り 市場開拓にも意欲

長年培った樹脂加工技術を一段と強化、生産体制も向上し、需要に応える体制が整った。これまでの取引先からの受注量拡大を図ると共に、新たな技術をアピールし、市場開拓にも取り組んでいる。工程短縮の成果は、コスト削減につながり、利益率の高い「特急品」にもより柔軟に対応できるようになった。円筒形の樹脂をT字形につなげるなど高度な技術を凝縮した手加工品も同社の強みだ。こうした技術を大切にしながら、「0.1～0.2ミリの小径穴の仕事や医療系の分野にも参入したい」と常務の和弘さん。代表取締役の康治さんは「これまで地元の企業に育てていただいた。これからも地元企業に必要とされる会社であり続けたい」と柔和な笑顔を見せた。

■Company Data

有限会社銘板センター山陰



高度な技術を凝縮した手加工品

代表者名：引野 康治
創業年月：昭和51年4月
設立年月：昭和53年1月
資本金：10,000千円
従業員数：11名
業種：プラスチック製品製造業
住所：〒690-0823 島根県松江市西川津町2519
電話：0852-21-8388
FAX：0852-27-6680
e-mail：meiban-c@nifty.com